

湯沢町商工会景況調査報告書

組織番号 0 6 1
商工会名 湯沢町商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 湯沢町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 63 事業所 (うち小規模事業者数 61 事業所)
ウ 回答企業数 63 事業所 (うち小規模事業者数 61 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成30年1月～平成30年6月
(調査時点 平成30年7月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	2	3.2%	2	3.2%
建設業	10	15.9%	10	15.9%
卸・小売業	21	33.3%	21	33.3%
サービス業	30	47.6%	30	47.6%
合計	63	100.0%	63	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

調査回答企業の構成比は、サービス業(47.6%)、卸・小売業(33.3%)で全体の8割を占める。

売上の「増加」、採算の「好転」という回答もあったものの、いずれの割合も低く地域内での経済環境は、依然厳しいものと思料する。

【後継者の状況】

回答企業の6割弱が後継者がいない状況。廃業等による地域経済への悪影響が懸念され、近年の大きな課題である。

後継者 あり	26事業所	41.3%
後継者 なし	37事業所	58.7%

【売上高】

各項目の「増加」と「減少」の回答割合の差は、前年同期比44.3ポイント減少、前期比47.6ポイント減少、今後の見通しにおいても39.7ポイントの減少となっている。今後増収を見込んでいる事業所は増加しているものの、少数であり、減少傾向が続いている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
6	23	34	4	25	34	9	20	34

【採算】

各項目の「増加」と「悪化」の回答割合の差は、前年同期比30.1ポイント悪化、前期比30.2ポイント悪化、今後の見通しは27.0ポイント悪化。「不変」、「悪化」の回答が目立ち、採算性の低い状態続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
6	32	25	4	36	23	4	38	21

【仕入単価】

各項目の「上昇」と「低下」の回答割合の差は、前年同期比33.3ポイント上昇、前年比38.1ポイント上昇、今後の見通しは38.1ポイント上昇。仕入価格は依然上昇傾向である。売上が低迷する中、仕入単価が採算性の悪化に影響しているものと思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
27	30	6	27	33	3	27	33	3

【販売(客)単価】

各項目の「上昇」と「低下」の回答割合の差は、前年同期比14.3ポイント低下、前年比19.1ポイント低下、今後の見通しでは15.9ポイント低下となっている。客単価については「不変」との回答が最多。仕入単価の上昇を販売単価に転嫁できていないものと思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
3	48	12	1	49	13	3	47	13

【資金繰り】

各項目の「好転」と「悪化」の回答割合の差は、前年同期比27.0ポイント悪化、前年比31.7ポイント悪化、今後の見通しでは27.0ポイント悪化となっている。「好転」と回答した事業所はごく少数。資金繰りは依然厳しい状況である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	42	19	0	43	20	1	44	18

【雇用動向】

各項目の「増加」と「減少」の回答割合の差は、前年同期比11.1ポイント減少、前年比11.1ポイント減少、今後の見通しでは8.0ポイント減少となっている。「不変」との回答が最も多く、雇用動向は依然低迷している。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
1	54	8	1	54	8	1	56	6

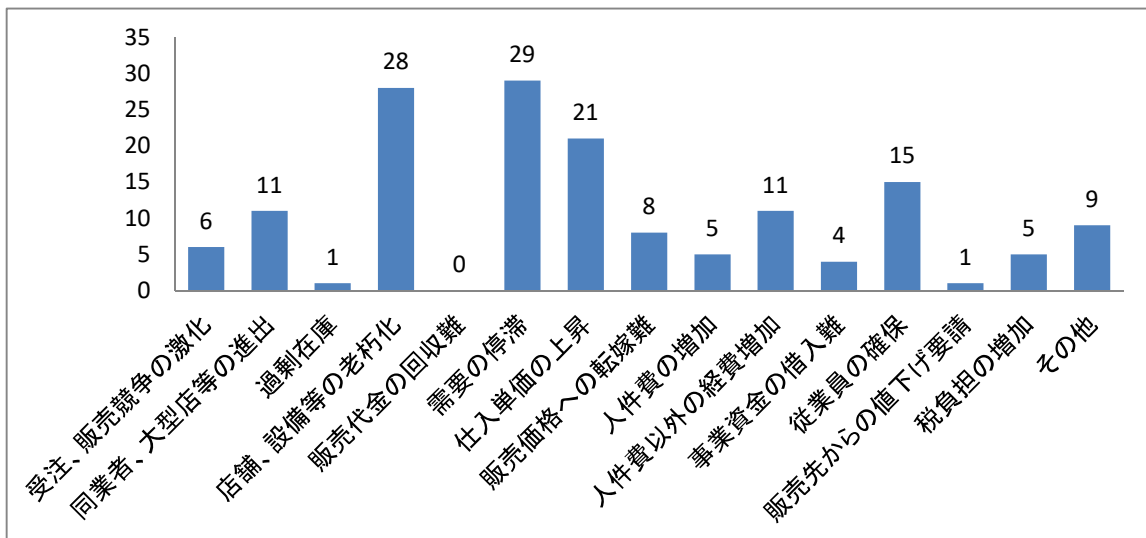
【景況判断】

各項目の「好転」と「悪化」の回答割合の差は、前年同期比44.5ポイント悪化、年比46.1ポイント悪化、今後の見通しでは42.9ポイント悪化となっている。売上高、採算等が改善していないことから、景況改善を予想する事業所は少数であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	31	30	1	32	30	3	30	30

【経営上の問題点】

今回の調査では、「需要の停滞」を経営上の問題として挙げた事業所が7件増加し29件で最多であった。続いて、前回最多回答であった「店舗・設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となっている。「従業員の確保」も当地にとって、大きな問題となっている。



【設備投資】

今期の設備投資については、「実施した」11件に対し、「実施していない」52件との結果となった。来期予定についても調査対象63件のうち「実施する」は7件のみである。店舗、設備等の老朽化が経営上の問題と考える事業所が多いものの需要が低迷する中で設備投資に至っていないのが現状である。

今期		来期	
実施した	実施していない	実施する	実施しない
11	52	7	56

3. 産業別景況概要

(1) 製造業

- ・前年同期比（29年1月～6月）
調査対象は2事業所のみであるが、売上、採算、景況判断において「増加・好転」、「減少・悪化」の正反対の回答となった。
- ・前期比（29年7月～12月）
売上については「増加」、「減少」が1事業所ずつであった。販売単価、資金繰り、雇用動向については2事業所とも「不変」との回答であった。
- ・今後の見通し
販売単価、資金繰り、雇用動向については2事業所とも「不変」との回答であった。1社は景況判断が「好転」と予想している。
- ・総括
事業所により回答が大きく異なる結果となった。

(2) 建設業

- ・前年同期比（29年1月～6月）
売上については「減少」と回答した事業所が5件で最多。その他項目については「不変」と回答した事業所の割合が最も多かった。
- ・前期比（29年7月～12月）
仕入単価が「低下」と回答した事業所は0件。売上、採算、客単価が「増加・好転」と回答した事業所も0件であった。
- ・今後の見通し（30年7月～12月）
売上が「増加」、採算が「好転」と回答した事業所は少数である。仕入単価の高止まりを予想する回答が多数であり、厳しい状況が続くと思われる。
- ・総括
需要が停滞する中、全ての項目において「不変」と回答する事業所が多くなっている。業界全体で厳しい状況が続いていると思われる。

(3) 卸・小売業

- ・前年同期比（29年1月～6月）
売上が「減少」と回答した事業所が目立つ。一部では仕入単価が「下落」したと回答した事業所もあるが、採算性が「改善」したとの回答は0であった。
- ・前期比（29年7月～12月）
売上、販売単価が改善しない中、仕入単価は「上昇」しているとの回答が多数であった。採算性も「不変」、「悪化」との回答が目立った。
- ・今後の見通し（30年7月～12月）
売上、採算が「上昇・好転」との回答もあったが、少数である。仕入単価は今後も「上昇」するとの回答が多数を占め、景況判断も悪化が予想される。
- ・総括
需要の停滞から売上が増加しない中、仕入単価が上昇しており、採算性の悪化も目立つ。業界全体としては厳しい状況が続入していると思われる。

(4) サービス業

- ・前年同期比（29年1月～6月）
すべての項目において「不変」との回答が最多である。一部で売上、採算性が「増加・改善」と回答する事業所もあったが、少数である。
- ・前期比（29年7月～12月）
全体としては「不変」と回答する事業所が多数であったが、売上が「減少」と回答する事業所が増加した。
- ・今後の見通し（30年7月～12月）
今後も売上が「減少」と予想する事業所が目立ち、採算性が「改善」するとの回答は1件であった。他の項目については大きな変化は見られない。
- ・総括
仕入単価が上昇傾向の中、売上を「増加」と回答する事業所は少数である。景況の改善を予想する事業所もあるものの、全体としては低調と言える。

No.	
-----	--

景況調査ヒアリングシート（平成30年度）

調査対象期間 平成30年1月～6月
（調査時点 平成30年7月1日）

事業所名

商 工 会 名	湯沢町商工会	担当職員名	
企業の概要	業 種	1：製造 2：建設 3：卸小売業 4：宿泊業 5：飲食業 6：その他（ ）	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無（誰かに引継いでほしい：1 仕方なく廃業：2 その他：3）	

（1）貴社の状況についてお答えください。（該当する番号に○を付してください。）

	前年同期（H29年1～6月） と比較して	前期（H29年7月～12月） と比較して	今期（H30年1～6月）と 比較した来期（H30年7～ 12月）の見通し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算（経常利益）	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売（客）単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

（2）貴社の経営上の問題点（下記より上位3つまでを選び、○を付してください。）

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| ①受注、販売競争の激化 | ②同業者、大型店等の進出 | ③過剰在庫 |
| ④店舗、設備等の老朽化 | ⑤販売代金の回収難 | ⑥需要の停滞 |
| ⑦仕入単価の上昇 | ⑧販売価格への転嫁難 | ⑨人件費の増加 |
| ⑩人件費以外の経費増加 | ⑪事業資金の借入難 | ⑫従業員の確保 |
| ⑬販売先からの値下げ要請 | ⑭税負担の増加 | |
| ⑮その他（ ） | | |

（3）今期及び来期の新規設備投資はどのような状況ですか。新規設備内容に該当する空欄に1（今期）か3（来期）を記載して下さい。（両方の場合は1・3と記載）

	今 期	来 期
設 備 投 資	1.実施した 2.実施していない	3.実施する 4.実施しない

- ① 土地 ② 建物 ③ サービス設備 ④ 車両 ⑤ 付帯施設 、
⑥ OA 機器 ⑦ その他 。

（4）今後の事業・経営において強化したい点（販路開拓等）